慶應義塾大学学術情報リポジトリ

Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	目次
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学藝文学会
Publication year	2014
Jtitle	藝文研究 (The geibun-kenkyu : journal of arts and letters). Vol.107, (2014. 12)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00072643-01070001002

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって 保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

目次

1	室町期冷泉家古今学に関する一資料――三康文化研究所附属。	三康図書館蔵
	『為和秘抄』所収の古今注をめぐって ――	舘野文昭
22	揺曳する景と心 ――恋情の表出と神の顕現と ――	佐藤陽
43	川端康成「青い海黒い海」論――「幻想と象徴」について―	- 青木言葉
65	『三国志演義』の怒りの諸相	吉永壮介
85	『世説新語』の劉孝標注にみえる子部の引用書と通行本との』	比較研究
		福田文彬
120	『老子』のテキストの変遷に関する一考察 —— 「吾 と 「我 を	·申心に——
120		仙石航太郎
138	ラブレーとラファルグ — 19 世紀におけるラブレー受容の 3	1 例 ——
		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
161	ミシェル・ヴィユシャンジュを読むジュネ ――	2007
	『スマラ』から「イビスへの手紙 へ(1)	岑村傑
180		
180	『スマラ』から「イビスへの手紙」へ(1) ポール・クローデル『1914 年降誕祭の夜』——鎮魂の劇とし	
180 199		.て—
	ポール・クローデル『1914 年降誕祭の夜』――鎮魂の劇とし	で 一 西野絢子 寺尾恵仁
199	ポール・クローデル『1914 年降誕祭の夜』――鎮魂の劇とし 不可能性の演技 ――劇団三条会の「不気味な」名人芸	で 一 西野絢子 寺尾恵仁
199	ポール・クローデル『1914 年降誕祭の夜』 — 鎮魂の劇とし 不可能性の演技 — 劇団三条会の「不気味な」名人芸 ローベルト・ムージル『愛の完成』における理性と感性 —	て — 西野絢子 寺尾恵仁 吉野泰斗
199 220	ポール・クローデル『1914 年降誕祭の夜』――鎮魂の劇とし 不可能性の演技――劇団三条会の「不気味な」名人芸 ローベルト・ムージル『愛の完成』における理性と感性―― 現実の有意味性へ向けた努力としての「合一」	て — 西野絢子 寺尾恵仁 吉野泰斗
199 220	ポール・クローデル『1914 年降誕祭の夜』――鎮魂の劇とし 不可能性の演技――劇団三条会の「不気味な」名人芸 ローベルト・ムージル『愛の完成』における理性と感性―― 現実の有意味性へ向けた努力としての「合一」	て 一 西野絢子 寺尾恵仁 吉野泰斗 今学問理論 粂川麻里生
199 220 238	ポール・クローデル『1914 年降誕祭の夜』――鎮魂の劇とし 不可能性の演技――劇団三条会の「不気味な」名人芸 ローベルト・ムージル『愛の完成』における理性と感性―― 現実の有意味性へ向けた努力としての「合一」 自然の言語――ゲーテの世界観とグレゴリー・ベイトソンの	て 一 西野絢子 寺尾恵仁 吉野泰斗 今学問理論 粂川麻里生
199 220 238 256	ポール・クローデル『1914 年降誕祭の夜』 ― 鎮魂の劇とし 不可能性の演技 ― 劇団三条会の「不気味な」名人芸 ローベルト・ムージル『愛の完成』における理性と感性 ― 現実の有意味性へ向けた努力としての「合ー」 自然の言語 ― ゲーテの世界観とグレゴリー・ベイトソンの 革命と統一:ジュンパ・ラヒリの『低地』における抵抗の手	で 一 西野絢子 寺尾恵仁 吉野泰斗 学問理論 粂川麻里生
199 220 238	ポール・クローデル『1914 年降誕祭の夜』 ― 鎮魂の劇とし 不可能性の演技 ― 劇団三条会の「不気味な」名人芸 ローベルト・ムージル『愛の完成』における理性と感性 ― 現実の有意味性へ向けた努力としての「合一」 自然の言語 ― ゲーテの世界観とグレゴリー・ベイトソンの 革命と統一:ジュンパ・ラヒリの『低地』における抵抗の手 としての大学教育	で 一 西野絢子 寺尾恵仁 吉野泰斗 学問理論 粂川麻里生
199 220 238 256	ポール・クローデル『1914 年降誕祭の夜』 ―― 鎮魂の劇とし 不可能性の演技 ―― 劇団三条会の「不気味な」名人芸 ローベルト・ムージル『愛の完成』における理性と感性 ―― 現実の有意味性へ向けた努力としての「合ー」 自然の言語 ―― ゲーテの世界観とグレゴリー・ベイトソンの 革命と統一: ジュンパ・ラヒリの『低地』における抵抗の手としての大学教育 孤立する騎士の系譜: ボッカッチョの『フィローコロ』と	て 一 西野絢子 寺尾恵仁 吉野泰斗 学問理論 粂川麻里生 設 志賀俊介

慶應義塾大学藝文学会